

読もう!見よう!聴こう!身近な図書館(2)

図書館では、貸出業務のほかにさまざまな業務や取り組みをしています。今回はその中のいくつかを紹介します。



中央図書館 児童室

児童室

中央図書館の児童室は2階にあります。室内には机といすのほかにゆったりと座れるソファもあり、ステンドグラスで飾られた窓の外には木々の緑が見えます。本は表紙が見えるように展示されているので、色とりどりの絵が楽しい雰囲気を創り出しています。

学校との連携

子どもに本に親しんでもらうため、小・中学校に本の貸し出しをしています。1回600冊以内の本を貸し出す用意をしています。

茨木市では、小学校3年生の時に中央図書館を見学します。その時全員が利用カードを作り、借りて帰ります。茨木市の図書館の利用率が高い理由の一つには、こうした子どもの時からの体験が活かされているのかもしれない。



小学生の館内見学風景

ボランティアの作業室と地下の書庫

中央図書館には、録音図書や点字図書を作成するための部屋があります。録音室は外部の音を遮断できます。地下の書庫は出版年の古い書籍などを置いている所です。利用者の求めに応じてすぐに貸し出しできるように、専任の人によって整理されています。



中央図書館 627-4129

担当: 崎間 上村

おはなし会やその他の催し

図書館で養成講座を受けたボランティアの人たちが、6カ所の図書館分室のほかに小学校や幼稚園、保育園などでおはなし会の活動をしています。

図書館ではおはなし会だけでなく、夏休みや教育月間には、人形劇や科学実験教室などの催しも行っています。また中央図書館2階のギャラリーでは、定期的に絵本の原画を展示しています。

移動図書館“ともしび号”

図書館から遠い地域には、移動図書館“ともしび号”が担当の司書とともに巡回します。現在、自治会などの協力で23カ所に出向き、小説、実用書、子どもの本、絵本など約4,000冊を選択して積み込み、貸し出しをしています。



移動図書館“ともしび号”

乾いた草原や畑などで見られる虫



スズムシ

土手などの草むらに多く見られ、夜にリーンリーンと鳴く。



マツムシ

夜にチンチロリンと鳴く。



オンブバッタ

メスの上にオスがのっている。

ショウリョウバッタ、キリギリス、クビキリギリス、コバネイナゴ、ヒシバッタ、クルマバッタなども見られる。

虫たちを見つけよう!

背丈の高い草むらなどで見られる虫



ナキイナゴ

ススキの茂みに多く見られ、シリシリシリと鳴く。



カンタン

高い草の上を好み、ルルルと静かに鳴く。

ツユムシ、クツワムシ、ウマオイなども見られる。

わが街は年々変わってきています。私たち人間の生活の場が広がり、緑濃い自然も少しずつ失われてきたように思います。虫が住む世界も小さくなったのではと、目を凝らし耳をすませて自然をよく観察してみると、あちこちで虫の声が聞こえてきます。

そこで『まなびどり』編集ボランティアは、夏から秋にかけて見られる虫を紹介します。

林や木などで見られる虫



ウマオイ

夜などにスイッチョと鳴く。



カネタタキ

低い木に見られ、チンチンと鳴く。

アオマツムシなども見られる。

湿った草原や水田などで見られる虫



クサキリ

キリギリスの仲間で、夜にはジーと長く鳴く。

ショウリョウバッタ

飛ぶとき、羽を打ち合わせてキチキチと音を出す。



コバネイナゴ、ハネナガイナゴなども見られる。

草の少ない空き地や道端などで見られる虫



イボバッタ

乾燥した地面に多くいる。



エンマコオロギ

夜にコロコロリーと鳴く。

ヒシバッタ、ハラオカメコオロギなども見られる。

今回は比較的に見つけやすい場所に分けて虫を紹介しましたが、ほかの場所でも見かけることができます。

担当: 東實 野間 絵: 金原